



森下仁丹

News Letter

報道関係各位

2019年9月19日
森下仁丹株式会社

明治、大正、昭和、平成、そして令和へ
受け継がれるロングセラー

仁丹は
今年で発売から115年目を迎えます

現在発売されている銀粒「仁丹」の前身にあたる「赤大粒仁丹」が世に出たのは、1905年(明治38年)2月11日。「仁丹」開発のきっかけは、1895年(明治28年)、台湾に出征した創業者森下博がみた、現地で常用されていた丸薬です。当時の日本の医療の状況は、今日とは比べものにならないくらいに貧しく、風邪や食あたりといった病気で命を落とす人が少なくありませんでした。この丸薬のように万病に効果があって飲みやすく、さらに携帯・保存に便利な薬をつくれなかと考え、誕生したのが「仁丹」です。

大礼服の帽子をかぶり、カイゼル髭をたくわえ、謹厳でりりしい中にも親しみのある表情のマークは「この丸薬を日本はもちろん、世界中の人々の健康のために役立てたい」という創業者森下博の願いが込められた「薬の外交官」。このシンボルマークとともに、「仁丹」は時代を超え今もなお、多くの方にご愛顧いただいております。

生薬のちからでお口も気分もすっきりと

現在の「仁丹」は、口臭、気分不快などに効能効果をもつ医薬部外品の口中清涼剤。1粒に厳選された16種類の生薬が配合され、表面を銀箔でコーティングすることにより保存・携帯性を高めています。森下仁丹は「仁丹」で培った伝統の生薬技術と製造方法を今もなお守り続けています。



< 製品概要 >

販売名	仁丹N
分類	医薬部外品 口中清涼剤
剤形	丸剤
有効成分	阿仙薬、甘草末、カンゾウ粗エキス末、桂皮、丁字、益智、縮砂、木香、生姜、茴香、メントール、桂皮油、丁字油、ペパーミント油
効能・効果	気分不快、口臭、二日酔い、宿酔、胸つかえ、悪心嘔吐、溜飲、めまい、暑気あたり、乗物酔い
用法・用量	大人1回10粒、11才以上15才未満:1回7粒、8才以上11才未満:1回5粒、5才以上8才未満:1回3粒、1日10回まで適宜服用

仁丹 ブランドサイト https://www.181109.com/contents/jintan/jintan_list.html

※本リリースに記載している発売当時の「仁丹」に関する記述は、現在販売中の製品のものではなく、当社の歴史に基づいたものです。

【リリースについてのお問合せ先】

森下仁丹株式会社 広報担当 向井・竹中 TEL:06-6761-1134 FAX:06-6761-8108

【お客様からのお問合せ先】

TEL:0120-181-109 (受付時間 平日 9:00~21:00 土日祝 9:00~17:00)



森下仁丹 〒540-8566 大阪市中央区玉造一丁目2番40号 TEL:(06)6761-1134 FAX:(06)6761-8108